

鹿島ふれあい学園 鹿島東小だより



ひがしっ子



HPもどうぞ

令和5年 6月20日 文責:伊達

春の体育会 無事できました！



6月1日(木)に令和5年度「春の体育会」を行いました。例年よりも早めの梅雨入りで、天候は不安定でした。事前に予備日や体育館開催の予定を立て、プログラムも学年種目・全校種目優先で変更するなどの準備をしました。結局、予定していた総合練習は実施できず、予備日に全校の動きの確認を1時間行ったという状況でした。最後はてるてる坊主に頼りましたが、当日は朝から快晴で、雨どころか熱中症対策を講じるような天候となりました。そして、最終的には何度目かのプログラム変更をして全種目実施することができました。また、久しぶりに活動制限なしの体育会で、講武幼稚園・御津保育所の子どもたちも一緒に競技できました。

保護者の皆様、地域の皆様、平日にかかわらず、多数おいいただき、ありがとうございました。子どもたちに対しておほめの言葉をたくさんいただきました。ひがしっ子の力を集結した体育会を見ていただけて本当にうれしく思います。また、早朝の準備や終了後の片付けにも多数ご参加いただき、ありがとうございました。

6月8日(木)の全校朝礼の場で校長からひがしっ子の「ひかる」姿を伝えました。

【全校朝礼より】

校長先生が今年素晴らしいと思ったのは、みんなが全力だったことです。競技はもちろんでした。最後までみんなが全力で走ったり綱引きしたり、玉入れしたりしていました。ころんだ人もいたけどあきらめずに最後までやり切ったよね。一位の人も油断せずに最後まで全力だったよね。

もう一つは、みんな素直だということです。先生から言われること、6年生のリーダーさんから言われることをよく聞いて、ほめられたことをもっとがんばろうとするし、教えてもらったことを次やろうとします。それが素直ということ。みんなの体育会を見て、がんばろうと思えました。それはすごいことなんだよ。みんなの一生懸命や素直は誰かのやる気になる、誰かを元気にする、そんな力があります。そして、それはひがしっ子のチームワークになります。これからの生活で、もう体育会はないけど、体育会の時みたいに一生懸命取り組んだり、言われたことを素直にやってみたりすることはできます。

すでに、次のことに一生懸命取り組んでいる人もたくさんいます。それが、体育会で学んだことを生かすということです。とてもすばらしいです。

今年もいい体育会でした。



4月から6年生を中心に準備に取り組んできて、代表委員会、3回の色別集会、総合練習、準備、たくさんのことに取り組んで本番を迎えました。もちろん一つ一つの活動に準備や打ち合わせや練習がありました。それらに真剣に取り組んできた6年生、支えた5年生、協力してがんばった1～4年生の姿がありました。どの学年の子どもたちも真剣で一生懸命でした。それは楽しいからです。楽しいからこそ苦労したり緊張したりすることも乗り越えていけます。そして仲間がいるから、より楽しいのです。年度初めの4～6月、大変でしたが充実していました。その分、子どもたちの結束が強まりました。また、体育会后、学年を越えて休憩時間に楽しそうに遊ぶ姿もよく見えます。体育会始め、全校で取り組むいくつもの行事や活動が子どもたちに与えた力や自信がひがしっ子のチームワークとなっていくことを感じます。これが本校の強みであり、伝統であることを改めて思います。

